広報こすど
発行所 小須戸町公民館
発行人 間野良知
印刷所 玉庭印刷所
毎月1日
一部5円

十年後をめざして町づくり

小須戸町総合計画審議会発足

最近のわが国における経済成長は著しいものがあり、それに伴う社会の変動もきわめて早いテンポで進んでいます。そして国民経済の発展と生活水準の向上により住民の行政に対する要望が多様化、高度化となって現われてきております。特に生活環境を中心とした社会施設や産業基盤施設等の整備充実が急速にはかられる必要があります。

このような状況のなかで小須戸町では住民の福祉向上のために平素から懸命な努力を続けておるところでありますが最近の経済社会に対応して本町の行政も長期性、総合性かつ効率性を確保し住みよい町づくりのために町民の総力を結集してどうしても計画行政をおしすゝめる必要があります。

そのため去る九月議会に小須戸町総合計画審議会条例を制定し十一月一日付で左記の方々を審議委員に委嘱しました。

そこで総合計画について簡単に説明しますと、

(一)昭和五十七年までの長期的ビジョンを構想とした基本構想

(二)昭和五十二年までを目標として基本構想に基づく基本計画

(三)昭和五十年までを目標として基本構想、基本計画に基づく実施計画

からなり(一)の基本構想は国や県の諸構想との調整をはかりながら町の現況と問題点を分析して小須戸町の未来像を画きそこに到達するための基本構想を策定するものです。

小須戸町の基本構想の骨子は自然を保護して「健康にして住みよい町」づくりを理念に将来は新潟市のベットタウンとして道路をはじめとする公共施設の整備をはかり産業を振興し何よりも人間尊重を基調とした明るい町民性と魅力ある町の建設を第一義に考えているものです。

具体的には道路計画をはじめとする基盤整備や農林商工業の発展を推進する産業振興、教育文化や社会福祉、住宅、上下水道等生活環境計画、その他行財政の合理化等構想は広範囲にわたるものですが、基本構想については審議会で充分ご審議いただき来年の三月には町議会に提案の予定です。

審議会委員

議会議員
梅津英五郎　議長
栗原　久平　副議長
新井田辰男　総務文教
海津平一郎　産業建設
穴沢長太郎　社会厚生
教育委員会
岡田　六衛　教育委員長
農業委員会
池田　清六　農委会
関係諸団体
木村　耕平　農協
高橋　菊衛　商工会
須藤　熙七　消防団
吉田　和幸　青年団
松沢　キヨ　婦人会
学識経験者
青木　堅司
田中　達郎
高野　良雄
間野　良知
丸山　耕平
以上　一七名

旅はよいもの

四番町　茶山人

旅はよいものである。

敬老号なんていやに老人くさくて俺には向かんと思っていたが、ふっと思いたって出発の前日に五十嵐さんに願って乗せてもらった。

男鹿半島行きである。

秋田全県の電気料と新潟市の電気料が同じだなんて話をききながら駅に降り立ったが、どうしてどうして活気横溢の街並で、寒風山県立公園までの約四〇粁の間の農家の請負ブームと商家の軒の酒看板の多いのにたまげた。とにかく秋田は酒どころで、又秋田人の飲みっぷりが思いやられるようだった。

寒風山三六〇度の展望台きら光る周辺一面はやはり稲なのだ。とにかくこの山より見る景観、海岸線はすばらしいにつきる。大急ぎで開けたと思われる男鹿温泉に、土くさい女中さんのせいいっぱいのサービスを満喫して帰途についた。

はさすがのものだ。地球の丸いのがよくわかり、海の青さが本当に底ぬけだ。近代農政の悲劇を見るよう八郎潟干拓地の赤い屋根、青い屋根がきら

道中五リットル以上も平げた豪傑もいて、旅は何時出てもよいものだ。

毎月第三日曜日は「家庭の日」です
家族で楽しくすごしましょう

火の用心

火の元には充分ご注意を願います。

小須戸風土記

一家に一冊そなえましょう。

頒価　三〇〇円

申込みは公民館又は教育委員会へ。

（残部少なし）

幼児教育の充実

幼稚園建設始まる

幼児教育は人間の一生に対して重大な影響があるといわれております。この幼児教育を通じ本町の教育効果の増進を図るため幼稚園の設置を計画しておりましたところ、このたび国県の認可を得建設費二六、三三〇、〇〇〇で建設に着工いたしました。完成の暁には近郷にない立派な幼稚園となります。

規模は

保育室　三
遊戯室　一
事務室　一
幼児用プール　一
機械室　一
その他

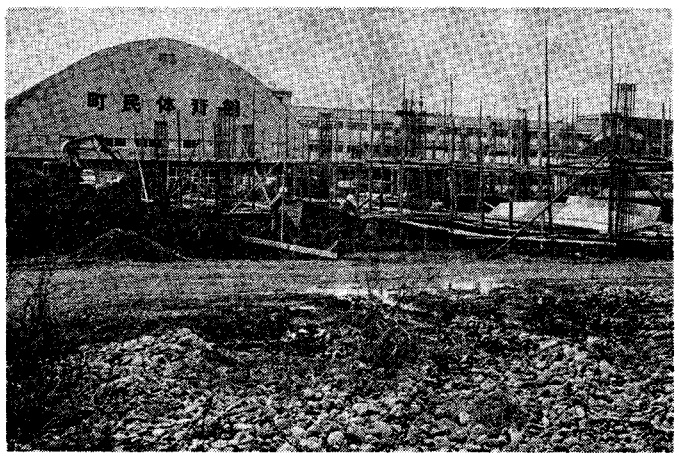
収容人員　一二〇名

一、完成予定昭和四七年三月二十日

一、開設は昭和四十七年四月

一、申込は昭和四十七年一月予定

一、申込者年令　五才児



＝建設中の幼稚園＝

みなさんおすみですか

今月の納税についてお知らせします。

町、県民税の四期と国民健康保険税の五期です。

（軽自動車税と固定資産税は特別のものを除き納期は終わりました。）

自主納税と納期内納入にご協力ください。

（税務課）

旧金鵄勲章受給者に銀杯を

恩給法、援護法も大幅改正

旧金鵄勲章をうけた人には内閣総理大臣から銀杯がおくられます。対象は、①昭和十五年四月二十九日付けで、金鵄勲章を受け、一時金が支給された生存者。②昭和三十八年四月一日以降に本人が死亡した場合はその遺族に。

恩給法

1. 戦地外戦務や各種職務の年数も恩給基礎の在職年数として、加算が認められます。
2. 実在職三年以上―七年未満の下士官以上として在職年が一年以上の人、その遺族にも支給されます。
3. 昭和十六年十二月八日以降旧軍人として、職務し負傷した人にも、特例傷病恩給が支給されます。
4. 戦傷病者などの妻に支給される、特別給付金の幅がひろがりました。

援護法

①準軍属の勤務で、傷病したときは、特例障害年金が支給されます。

②軍人や準軍人の遺族に特例遺族年金が支給されます。

③文官、軍属や準軍属の遺族にも、特例遺族年金が支給されます。

④満洲開拓青年義勇隊員などの準軍属者に対しても特例給与金が支給されます。

⑤戦没者が女子であった場合は、その夫に支給する年金の支給内容が、ゆるやかになりました。

⑥公務扶助料の資格者にも低額の遺族年金が支給されます。

⑦入営のとちゆうや、復員のとちゆうなどの死亡者遺族にも特別支出金が支給されます。

⑧昭和四十五年の改正で年金などを受ける権利を得た満洲開拓青年義勇隊員などの妻や父母にも特別給付金が支給されることになりました。

民生課福祉係

小須戸風土記

近世小須戸町支配の人達

「大庄屋茂林瀬兵衛」

柏大治

坂井文書に「仁右ェ門落着の際」とある。これは開作者としての仁右ェ門の開拓事業の使命がおわったことを意味しているが、大野仁右ェ門退役後坂井瀬兵衛の手腕と積年の功を貧し始めて新津組の内から二十二ヶ村をわけ小須戸組を独立させた。

吉田九右ェ門一巻には寡永十六年（一六四一）大庄屋に坂井瀬兵衛を任命したことが記録されている。

坂井瀬兵衛は大野仁右ェ門の相談役か、あるいは補佐役であったようで、仁右ェ門を陰で助けた功労者であった。新発田藩の役人で東蔵の米を主として管理したといわれている。

坂井家の系図から説明すれば、慶長三年新発田滑口公が加賀の大聖寺から召しつれてきた家柄で、先祖は坂井奎ェ門。子供が二人あって長男が坂井市郎兵衛で大面組大庄屋に任命され二男の坂井瀬兵衛も横越組の大庄屋に任命されたが横越組を伴の弥兵衛にまかせ、自分は新発田藩の役人として仕え、小須戸郷開拓に協力している。大野仁右ェ門を大庄屋とする説もあるが、小頭役で小須戸町最初の大庄屋は坂井瀬兵衛である。瀬兵衛の屋敷は茂林寺様の跡で数回にわたり京、大阪方面へ藩の諸用で出張している。

非常に識見の高い人で小須戸へ文化を導入したのも、この瀬兵衛庄屋である。町移転後の信濃川々原に桃梅を植林して花見町の地名をのこしている。花を愛し将来の鵜出古木、植木盆栽の生産地を夢みておられたのであろう。正保二年に屋敷跡に茂林秀繁という自分の法名をとって花屋山茂林寺を建立された。元禄十年寺社奉行書上秘録に

「当寺開基当所大庄屋瀬兵衛之後、致草創し則法名茂林繁昌と申候、故寺号と致し年数知不申、東山寺十一代文達和尚より拙僧迄

二代　昌秀」

の記録があり、瀬兵衛は延宝八年（一六八〇）に死んでおり「瀬兵衛之後」となると天和年代になり元禄から十七年前位の年代を「年数知不申候」とは考えられない「瀬兵衛之後」とは屋敷跡でこれなら正保二年の草創がうなづかれるのであって、上記の茂林繁昌は「秀繁」の誤記である。

生前から法名をもらっていることは、珍らしいことで、よほどの仏教信者が入門したか、仏縁がないともらえない。

兄の庄屋市郎右ェ門の大面組南蒲小滝村東山寺の文達和尚を茂林寺の開山としていることは。

なにか寺との関係がありそうだ。国宝地蔵尊を正保の頃庄屋坂井与次兵衛が大阪方面から入仏されたとあるが、この与次兵衛は三代も後の人になり正保の頃となれば瀬兵衛庄屋の時代になる。それに小須戸「とうろう」の人形の輸入もこの人のようで豪農吉田宇平次（米沢屋）が京の祭りをみて人形をかざったというものの、小須戸へ移住してからは二〇〇年足らずでおそらく最初は瀬兵衛庄屋が小須戸組独立を記念しての行事でなかろうか、茂林寺を建立してからは人よんで茂林瀬兵衛と称し藩の公文書にも茂林瀬兵衛と記録されている。寺を建立してからは屋敷を現在の新町、泉町をもって庄屋屋敷とした。諏訪町より神明町横町の小路を坂井家の茂林寺の参道と称した。延宝八年（一六八〇）と彫られている。お墓をみても小須戸は他国との交流があったことが想像される。

正面「空風火水地」大庄屋瀬兵衛のお墓である。五輪の墓は古い形式を備えている。　（つづく）

正に交通戦争
お互いに注意を
秋の安全運動の反省

九月二十七日より十日間にわたって実施された交通安全運動では当町も警察、交通安全指導隊、安全協会、運転者協会、交通安全母の会その他各種団体の協力を得て町内主要横断歩道を選び、特に老人、学生を対象とした街頭指導に当りました。

また安全施設としてカーブミラーの設置、取替（七ケ所）、センターライン等の路面塗装、ガードレールの取つけ等をいたしました。

二十八日には全町にわたりパトロールの結果、次の諸点が問題点としてあげられました。

1. 屋外物件、広告等意外に交通の支障になるものが放置されてある。
2. 屋敷内の樹木が道路上にまで茂り見通し困難な場所が多い。

これらの問題は単に交通安全だけのものでなく万一の火災の際等には消火作業をさまたげる原因になることも当然考えなければなりません。それぞれの町内、部落等で十分御検討の上適切な処置をお願いしたいと思います。

また取つけたカーブミラーその他の施設は、こわしたり、よごしたりしないよう御注意をお願いいたします。故意にたたいたり、投石したりしてこわした場合は弁償させることになつております。

この運動期間中にも数件の交通事故が発生いたしました。死者がなかったことは不幸中の幸いと思いますが、かえすがえすも残念なことでありました。

交通安全指導隊は去る七月十日、新潟県交通安全宣言記念日に新津交通安全指導隊小須戸町分遣隊として結成された。左記十人の方々が隊員となつています。

隊長　村山　与徳
隊員　八木　常栄
　　鶴巻　春司
　　高井　護
　　小池　昭平
　　風間九二男
　　吉田　義人
　　保科　健次
　　渡辺清次郎
　　長沢万寿広

何れも忙しい職にある方々ですが、事故絶滅の悲願から卒先陣頭に立つて奉仕をされているわけであります。直接街頭指導の外広報活動、パトロール、他地区との連携研修、交歓等多方面にわたる活躍に対し今後共期待するところ大きいものがあります。

世は正に交通戦争、運転者も歩行者も相共に注意をいたしましょう。

中導指全安通交今だだ

石油類の貯蔵にご注意

暖房用石油類の貯蔵および取扱いで、各ご家庭ではこれから使用される、ストーブの灯油について、貯蔵及び取扱いは一〇〇立以上五〇〇立までの数量で、これらの石油類は不燃材料で作った収納庫に格納貯蔵し、消防署に届出しなければならない規則になっています。なおガソリン類は最低二〇立以上一〇〇立まで、石油灯油類は一〇〇立以上五〇〇立まで、重油は四〇〇立以上二、〇〇〇立までで、各品目の最低数量以下については、その取扱いは自由ですが、最高数量以上は一般ご家庭では、貯蔵取扱いはできません。石油、灯油類はその量が多くなると危険物としての取扱い規制を受けますから、充分ご注意ください。なお届出用紙は消防署に準備してございます。

消防署より

文化財視察研修旅行に参加して

矢代田　並木　清一

町文化財保存協会の文化財視察研修旅行団の一員として、十一月十二日魚沼方面の文化財視察で、第一の目的地小千谷の慈眼寺に到着、この寺は戍申戦争の発端となった。河合継之助（四十二才）と官軍の岩村軍監（二十三才）が会見した寺で有名です。

次いで近くにある上弥彦といわれる格式の高い魚沼神社に室町時代作の御堂と五〇〇年は経たと思われる大杉を視察し、小千谷をあとに国道十七号線沿いの紅葉の山なみをめでながら小出町を過ぎ、魚野川沿岸の水産試験場、水産センターにドライブインしたのが正午頃、虹鱒の養殖試験場を見学、天竺煮定食という虹鱒の甘煮と山菜料理に舌鼓をうちました。

ここには奥只見郷土民俗館があり、湖底に沈んだ旧奥只見の民俗品を陳列してありましたが、最近迄何処にでもあると思われていたものでも、いつしか無くなってゆく激動の時代、今のうちに集めておくことが大事だと痛感しました。

次に越後日光とうたわれる西福寺の位牌堂として建立された、大浦開山堂でした。江戸末期に三条住人の石川雲蝶が二十年かかって彫ったという欅の丸彫は実に見事なもので本日の圧巻でありました。

次のコースは円福寺でここには鎌倉時代初期の国宝阿彌陀如来座像や、隠れキリシタンマリア地蔵菩薩があり、苔庭、石庭も立派なものでした。

最后の予定地は小出から只見線越後須原駅近くの・県文化財目黒邸で須原村の旧庄屋をつとめた県下有数の豪農住宅で、約二～三〇〇年前の建築でしたが、こんな近くにあったことに驚き、一日すごしました。

優良乳児養育者で表彰される

昭和四六年新潟県母子衛生大会が、さる十一月八日新潟三業会館ホールで開催されました。その折長年母子衛生事業に功労のあった団体、組織個人の表彰が行なわれましたが、その際当町矢代田の渡部久子さんが未熟児に生れたお子さんを、働きながら今日まで、立派に養育されたことに対して、優良乳児養育者の一人として他の二〇名の方達と共に、県知事、新潟日報等よりの表彰をうけられました。

赤ちゃんの名前は雪子ちゃん、四五年一二月生れ、生れた時体重は二四〇〇グラム、一〇月十七日現在一〇、七キログラム。

白根火葬場に新しい仏像が

かねて関係市町村仏教会により募金しておりました浄財で、火葬場に立派な御仏像（釈迦如来）が安置されました。御協力頂きました皆様にお礼を申し上げると共に左記の通り精算報告をいたします。

記

一、募財総収入
五〇八、九七七円
内訳
白根　二一三、八八〇
小須戸一〇四、〇九〇
中ノ口　六四、七三二
味方　六四、六二〇
月潟　四五、六五五
葬儀店　一六、〇〇〇
右金額より
御仏像、仏具外諸経費
二八一、七七四円を
差引き残金
二二七、二〇三円は
現金をもって火葬場事務組合へ今後の管理費として寄附いたしました。

（関係市町村仏教会）

局からお願い！

年末は郵便が混雑します。お早目にお出しください。

◇小包は12月15日までに
◇年賀状は12月15日から22日までに
◇郵便番号を書きますと「都、道、府、県名」は省略できます。

なぎさ

どうもわからない

○小須戸橋を渡りきった白根側の県道約二〇米程が舗装されておらない。

車でうっかり普通速度で行こうものなら、とたんにひどいバウンドで下手すると怪我もしかねない。既に何年越しのことであるが一体どうなっているのか、どうもわからない。

○矢代田新津間の県道、金山を過ぎると俗にいう化物丁場、路線沈下で一雨降ると水没で交通止めになる。最近応急的な土盛りかさあげ工事をはじめたようだが、そんな姑息の手段より思いきって永久的な完全改修工事ができないものだろうか。

新津、三条を結ぶ重要幹線であるだけに、お上の考え方がどうもわからない。

○小須戸市日になると住吉町の混雑はひどいものだ。単なる人ごみだけでなく、露店に野菜売りにリヤカー自転車の置き場とせまい道路がいっぱいだ。重要な公共施設郵便局と公民館のあることを忘れているのではなかろうか。なぜ市場は土手通りだけにできないのか、どうもわからない。

（新保　わからない男）

原稿募集

余り長くない軽いもの特にかくれた善行美談等を。

（編集部）

〝迷子の郵便をなくす為に〟

あて名は番地までくわしく、住所変更は忘れず郵便局へ届出を!!

郵便局では郵便物を確実に配達するために受持区内の居住者名簿を備えて万全を期しておりますが、それでも配達できない郵便がたくさんあります。

◎転居届の出てないもの
◎お嫁に来て姓が変ったもの、◎同姓同名で住所がくわしくないもの、◎「〇〇様方」と肩書きのないもの（子供さんあてに多い）◎丁目番地のないもの、などが原因です。折角の大切な郵便物が迷子にならないよう、あて名は正確にくわしく書きましょう。

（小須戸郵便局）

矢代田駅からのご案内

年末年始は例年汽車が混雑し、荷物は増加し、お客様の希望通りにいかないでご迷惑をおかけしています。

臨時列車の運転

十一月十四日付の新聞で発表になったように新潟―上野間をはじめ、大阪方面にも臨時列車が運転され、東京方面には、加茂駅始発もあります。

臨時列車は比較的空いていますので、なるべく臨時列車をご利用下さい。

指定券購入の方へ

特急券、指定券、寝台券はご乗車される日を含めて八日前に発売となりますので、早目にお買求め下さい。指定券のほか、新潟、新津等の切符と急行券も当駅で発売いたしますからお買求め下さい。小荷物（客車便）を送るとき年末になりますと贈答品等で荷物が増加し、汽車に積残りや、配達が遅れがちになりますので、なるべく早くお出し下さい。

宛先はハッキリと荷物に書いて、荷札も二枚着けて下さい。荷物を十五時三十分までに駅へお持ちになれば、その日に発送致します。

運賃は配達付で東京近辺で十キロまで、三〇〇円
二十キロまで三三〇円
大阪方面十キロ三七〇円
二十キロまで四九〇円です。各方面共三〇キロ以上は送れません。尚朝の受託時間は八時三十分からです。

役場よりお知らせ

「役場のMC一〇〇クロスバ自動交換について」九月二十日より自動交換にきりかえました。

なにかと御不便をかけるかと存じますが、今後お電話される時は代表番号三一一一番へかけて〇〇課なり〇〇係といって下さい。つながり話しができます。

――総務課――

文化祭句会

小須戸町俳句同好会

梨むく背母の小さくなりにけり　芳人
稲架一つ小春にかわき残りけり　香月
集い寄る子等戒めつ落葉焚く　良遊
柿もぐや学校が見え役場見え　虚秋
菊が暮れ残りおり大工まだ止めず　樫男
大根の葉に濡れ固し虫むくろ　太浪
庭紅葉掃きたるもよし掃かざるも　杏水
庭内に兵の墓あり帰り花　喜雨
流れ来る煎茶楽の香や秋の雨　碧水
文化の日一人謡曲謡いけり　悟桐
鳶が舞うだんだん畑菊畑　越楼
ひねもすを吾子とありて菊畳か　きよ
はなやかに咲いても淋し帰花　流水